



Media Release

リリース日: 2013年1月21日

ANZ が南三陸町に全額寄附した学習施設の落成式が行われました —震災後町内で再建された初めての公共施設となりました—

南三陸オーストラリア友好学習館（愛称：コアラ館）の落成式が、2013年1月19日に南三陸町にて、佐藤仁町長、ブルース・ミラー駐日オーストラリア大使、ピーター・デイヴィス オーストラリア・ニュージーランド銀行（ANZ）の在日代表出席のもと、行われました。コアラ館は、図書室、学習室、研修室を備えた生涯学習施設として、南三陸町内で初めて震災後再建された仮設でない公共施設となりました。

このコアラ館は、ANZ が全額寄附をして建設に至りました。ANZ は、東日本大震災後、100万豪ドルの支援を発表し、その中で、緊急支援に加えて中長期の復興開発プロジェクトに対する支援も表明していました。100万豪ドルの内、5,300万円が中長期の復興開発支援として町に寄附され、町の入札に基づいて、地元のデザイン会社と地元の建設会社が建設に携わりました。

デイヴィス在日代表は、「当行の社会貢献の柱の一つとして、地域社会の活性化のために、教育や雇用機会の創出を重視しています。ANZ が支援をしたコアラ館が、震災後、復興のきっかけの一つとなり、将来に向けた第一歩になることを願っています」と述べました。

佐藤町長は、「コアラ館の落成は、私たちの町の再建にとって、かけがえのない節目となりました。町内で、震災後、初めての公共施設の再建として、そして人々に学びの場・将来の再建を与える場となります。この学習館は、単なる新しい建物ではなく、町内でオーストラリアとの絆を感じる場となると信じています」と感謝の意を述べています。

ミラー駐日大使は、「2011年3月11日の東日本大震災以来、オーストラリアと南三陸町は強固な関係を築いてきました。まず、震災発生直後に、オーストラリアから都市捜索救助隊が同町に派遣され、捜索活動に従事しました。そのわずか一ヶ月後には、ジュリア・ギラード首相も南三陸町を訪問し、以来、様々な交流や活動を通じて、絆が深まりました。オーストラリア・ニュージーランド銀行の南三陸町の復興に対する多大な支援は、同町とオーストラリアとの継続的な友好関係に対する多大な貢献でもあり、称賛に値します」と述べています。

このコアラ館プロジェクトでは、レンドリース・ジャパン株式会社が、建物をオーストラリアの雰囲気にするために無償でデザインのアドバイスを実施し、プロジェクトマネジメントを担当しました。この豪系建設マネジメント企業の協力により、オーストラリアの雰囲気が建物内で感じられるような建物の実現に至りました。

ANZ は、1969年に東京に駐在員事務所を設立、その後1985年に銀行業認可を受け東京支店を開設しました。1990年には大阪支店を、2010年には名古屋出張所をそれぞれ豪州系の銀行として初めて開設しました。ANZ は日本において、個人のお客さまから、金融法人や大手事業法人のお客さままで、幅広いサービスを提供している唯一の豪州系銀行です。

メディアリリースの問合せ先:
オーストラリア・ニュージーランド銀行 CEO Office
Tel: 03 6212 7703

オーストラリア・ニュージーランド銀行
[商号] オーストラリア・アンド・ニュージーランド・バンキング・グループ・リミテッド（銀行）
東京支店 大阪支店 名古屋出張所
100-6333 530-0001 450-6215
東京都千代田区丸の内二丁目4番1号 大阪市北区梅田二丁目2番2号 名古屋市中村区名駅四丁目7番1号
丸の内ビルディング33階 ヒルトンプラザウエストオフィスタワー17階 ミッドランドスクエア15階